

バス停からの 小さな旅



文化の森スタッフが、あい愛バスを使った小さな旅を紹介します。

31 「ナビタウン稲辺(あまちの森・しょうよう線)」から稲葉池を訪ねて

加茂野町にある稲葉池は、一年中豊かな水をたたえており、一年を通してさまざまな野鳥が飛来し、その姿を観察することができます。中でもアオサギやカイツブリ、カワウなどの野鳥は、この地域で生活している留鳥で、一年中見ることができます。

一方、ミコアイサやキンクロハジロ、コガモやハシビロガモなどのカモの仲間たちは秋から春までの時期に見られる冬鳥で、秋に日本よりも北の地域からやってきて繁殖し、春に北の地域へ戻っていきます。

『美濃加茂市史』によると、加茂野町は市内でも野鳥の種類が一番多い地域。その中でも、特に稲葉池の周辺には多くの野鳥が観察できる場所と記されています。

水辺で野鳥が生息するには、大きなため池は重要な存在です。また、ため池に来る野鳥を観察する私たち人間にとっても、ため池は憩いの場所であると思います。

このような豊かな生態系のあるため池を、いつまでも保全したいですね。

※野鳥は餌を求めて別の池にいることもあります

文化の森 ☎ 28・1110



▲稲葉池の様子



▲池に飛来したカイツブリ



今回乗車したバス

行き・あまちの森・

しょうよう線 左回り3便

帰り：あまちの森・

しょうよう線 右回り4便

09時24分 美濃太田駅南口

10時01分 ナビタウン稲辺

下車後、南方向へのんびり歩きながら国道

248号線の下をくぐり、さらに南へ5分ほど歩いて稲葉池へ。

11時33分 ナビタウン稲辺

12時13分 美濃太田駅南口